

令和6年度学校評価の実施状況について

1 自己評価を実施した人数

	校 長	教 頭	事務長	教 諭	事 務	その他	計
実施人数	1	2	1	54	5	3	66

※その他（ PTA事務2名 ・ 図書館司書1名 ）

2 学校関係者評価を実施した人数

	学校評議員	PTA役員	その他				計
実施人数	4	28	1				33

※その他（ 卒業生 ）

3 外部アンケート等を実施した人数

	保護者	生徒	その他				計
実施人数	173	768	0				941

※その他（ ）

4 学校評価結果の公表方法等（該当項目に○、複数回答可）

自己評価	①ホームページ ②学校便り ③保護者への説明会 ④その他（ ）
学校関係者評価	①ホームページ ②学校便り ③保護者への説明会 ④その他（ ）

5 令和5年度の学校評価を踏まえ、令和6年度改善した点（いじめ問題に関すること等）

① 総合的な探究の時間で外部機関と連携しキャリア教育的視点の実践を行った。
② 課題や宿題を提供し、予習、授業、復習のサイクルで学力向上に取り組んだ。
③ 学校教育目標の達成に向け協議し本校教育目標にの生徒指導の方針を見直し内規の改正を行った。
④ カリキュラム・マネジメントに関する職員研修を実施し、学校課題について職員の共通理解を図った。
⑤ 部活動指導に関するアンケートや職員研修を実施し暴力・暴言・ハラスメントの防止に努めた。

6 令和6年度の学校評価で明らかになった課題

① 個人の裁量ある時間の確保や心身の健康・快適な職場環境の形成が不十分である。
② 生徒指導方針について職員の共通理解が不十分で、規律や身なり指導の徹底ができなかった。
③ 学業と部活動の両立を目指した指導が不十分である。
④ （外部評価は高いものの）全生徒・職員体制の美化活動の取り組みに不十分さがある。
⑤ 学力向上に向け、宿題や課題の提供、「分かる・参加する授業」の工夫が必要である。

7 令和6年度の学校評価を活かした令和7年度の改善点

① 業務や行事内容の検証・スリム化を図り、働き方改革を着実に進める。
② 改正した生徒指導方針にもとづき全職員体制で服装容疑や勤怠指導の指導を充実させる。
③ 部活動方針による日程で活動するなど、学業と両立できるような取組を行う。
④ 定期点検やルールの特約化など全生徒・職員体制で美化活動ができる実践を行う。
⑤ 授業内容を工夫し、予習・授業・復習のサイクルで学力向上に努める。